

日時: 2005年11月22日(火)14:00~

場所: 九州支部事務局会議室

出席者: 竹下支部長

有馬常議員、尾崎常議員、木村常議員、真鍋常議員、森下常議員、志賀常議員、
太記常議員、森常議員、安井常議員、山成常議員
事務局(伊地知)

・前回議事録確認

下記議事録は、異議なく了承された。

7月常議員会議事録(案)(曾我常議員) メールにて送付済み

10月幹事会議事録(案)(志賀総務幹事) メールにて送付済み

・報告事項

1. 本部関係報告

資料等に基づき、報告があった。

- | | |
|--------------------------|---------|
| (1) 9月担当理事会報告(竹下支部長) | 回覧1 |
| (2) 10月理事会報告(竹下支部長) | 資料1・回覧2 |
| (3) 10月支部長会議報告(竹下支部長) | 資料2・回覧3 |
| (4) 11月担当理事会報告(竹下支部長) | 回覧4 |
| (5) 10月学術推進委員会報告(太記学術幹事) | 資料3・回覧5 |

2. 支部関係報告

資料等に基づき、報告があった。

- | | |
|---|-----|
| (1) 7月と8月と9月と10月の業務報告(有馬, 志賀総務幹事) | 資料4 |
| (2) 7月と8月と9月と10月の会計報告(尾崎, 森会計幹事) | 資料5 |
| (3) 「作品選集2006」九州支部審査結果について(木村, 太記学術幹事) | 回覧6 |
| ・応募件数18件, 支部推薦9件, 本会入選7件 | |
| (4) 支部共通事業設計競技(太記学術幹事) | 資料6 |
| 1) 2005年度「風景の構想 - 建築を通しての場所の発見」本会審査結果について | |
| 支部入選16点中 優秀賞: 1件(熊本大学), 佳作: 2件(日本文理大学・佐賀大学) | |
| タジマ奨励賞: 3件(熊本大学、日本文理大学、鹿児島大学) | |
| 2) 2006年度課題アンケートならびに開催日程(案)(有馬総務幹事) | 回覧7 |
| ・本年度審査委員の意見をもとに、第一希望として「近代遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」を回答した。2006年度の課題は、上記課題に決定したことが報告された。 | |
| (5) 2006年度大会研究集会のテーマ立案依頼(木村, 太記学術幹事) | 回覧8 |
| ・支部締切: 2005年10月24日, 本会締切: 2005年10月28日 | |
| ・現在まで提案なし。昨年度は「なし」で回答。本年度も「なし」で回答した。 | |
| (6) 2005年度日本建築学会九州支部研究発表会募集要項(木村, 太記学術幹事) | 資料7 |
| ・10月号12月号会告掲載依頼済み, HP公開 | |
| (7) 2005年度日本建築学会九州支部研究発表会の発表要項(尾崎幹事) | 資料8 |
| ・各研究委員長へメールで周知、会告にも掲載 | |
| ・再度、各研究委員長へメールで案内することとなった。 | |

- (8) 2005 年度支部会計上半期の予算執行状況について（尾崎，森会計幹事） 資料 9
- (9) 第 2 回 2005 年度支部費等の交付金送付のお知らせ（尾崎，森会計幹事） 資料 10
 ・合計 2,011,500 円
- (10) 特色ある支部活動企画案の提出について（太記学術幹事・有馬総務幹事） 資料 11
 ・支部構造委員会から提案：「九州・沖縄地域における既存建築物の耐震診断と補強の勧め」
 ・本会提出×切：2005 年 9 月末（メールでの審議ののち提出） 不採択
- (11) 日本建築学会建築文化事業「建築文化週間 2005」の事業報告（山成常議員） 資料 12
 ・2005 年 10 月 22 日に実施。参加者は募集人員と同じ 50 名であった。
- (12) 平成 18 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の案内（有馬総務幹事） 資料 13
 ・構造委員会から案を提出（×切：11 月 7 日）
 ・構造委員会からの提案：「既存建築物の耐震診断と耐震補強・改修の勧め」
- (13) 親と子の都市と建築講座について（有馬総務幹事） 資料 14
- (14) 特色ある支部活動の事業報告について（有馬総務幹事） 資料 15・回覧 9
- (15) 登録建築家資格認定評議員について（竹下支部長） 資料 16
 ・竹下支部長が認定評議員として参加する。
 ・支部長が交代した後は、次の支部長が認定評議員となる持ち回りとする。
- (16) その他（有馬総務幹事）
- 1) 寄贈図書 回覧 10
 ・2005 年度大会（北海道）学術講演梗概集
 ・日本建築学会近畿支部研究報告集第 45 号（構造系，環境系，計画系）
 ・鹿島技術研究所年報 VOL.53
 ・建築都市行政の概要
- 2) 中村洋先生からのご寄付について
 ・9 月 27 日付け，印税として 2,160 円

・審議事項

1. 120 周年事業について（竹下支部長） 資料 17・回覧 11
- 1) 支部共通の提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」
 ・資料 17 および回覧 11 に基づいて報告があり、九州支部で行う上記設計競技の案は、都市計画委員会の佐藤委員長と有馬総務幹事を中心として検討する提案が竹下支部長よりなされ、了承された。
- 2) 功労者表彰の候補推薦について
 ・支部長に案内済み（支部×切：11 月 20 日，本部×切：11 月末）
 ・支所から推薦があった場合は支所からの推薦を優先して本部に推薦する。支所からの推薦がない場合は常議員会から推薦するものとし、歴代支部長の中から特に功労のあった民間出身の支部長を、竹下支部長、有馬総務幹事、志賀総務幹事の 3 名で協議して決定する提案がされ、了承された。
2. 2006 年度九州支部通常総会の日程について（有馬総務幹事）
 ・来年度本会通常総会 候補日：2006 年 5 月 19 日（金）13 時～，5 月 27 日（土）13 時～
 ・今年度九州支部通常総会：2005 年 5 月 27 日（金）
 ・本会通常総会の日程は会長の都合を聞いて 5 月 19 日か 5 月 27 日かを最終決定するが、会長の都合がどちらでも良い場合は、5 月 19 日（金）にすることが了承された。
3. 第 7 期代議員および 2006 年支部役員（支部長・常議員）の選挙日程（竹下支部長，有馬総務幹事） 資料 18
 ・支部締切：2005 年 11 月 30 日，本会締切：2005 年 12 月 10 日

- ・資料 18 に基づき、第 7 期代議員の候補者 6 名と選挙管理委員の内 2 名の候補者が提案され、了承された。

新代議員候補者：有馬隆文 栗山茂樹 真鍋正規 森下陽一 小路芳晴 伴丈正志

選挙管理委員候補（5 名の内 2 名）：木村潤一 尾崎明仁

- ・ 2006 年支部常議員の候補者は例年 7 名であるが、今回は 2007 年度の大会を考慮して候補者を 6 名とすること、および現在未定である官庁・民間からの候補者は、竹下支部長、有馬総務幹事、志賀総務幹事で決定することが提案され、了承された。

新常議員候補者：堀賀貴 島岡成治 趙翔 山田義智 大井尚行 一名（未定）

4. 2006 年度日本建築学会大賞業績候補の推薦依頼について（竹下支部長） 資料 19
 - ・資料 19 に基づいて 1 件の推薦があったことが報告され、了承された。
 - 候補者：青木正夫（九州大学名誉教授）
5. 2006 年度日本建築学会文化賞業績候補の推薦依頼について（有馬総務幹事） 資料 20
 - ・資料 20 に基づき、現在まで推薦がないことが報告された。今回は、「推薦なし」で回答することが了承された。
6. 九州支部業績賞の推薦について（志賀総務幹事） 資料 21・回覧 12
 - ・2 件の推薦があり、資料 21 および回覧 12 に基づき審議した結果、いずれも十分な業績があることから、2 件とも採択することが了承された。
7. 2005 年度日本建築学会九州支部研究発表会について） 資料 22
 - ・講演会・懇親会・研究発表会・教室割りについて（尾崎幹事）
資料 22 に基づき提案があり、了承された。ただし、教室割りは、プログラム編成後に行う。
 - ・1 月号の会告について（尾崎幹事）
資料 22 に基づき提案があり、了承された。
 - ・研究報告集の印刷見積もりについて（尾崎会計幹事）
印刷会社は秀功社とし、研究報告集の頒布価格は構造系、環境系、計画系いずれも一律とする提案があり、了承された。最終的な頒布価格は、尾崎会計幹事に一任する。
 - ・プログラム編成作業の手順と日程、プログラム編集委員の推薦依頼（木村学術幹事）
資料 22 に基づき報告があり、了承された。都市計画委員会については、プログラム編成委員の都合上、12 月 21 日（水）の午後に編成会議を行うことを了承した。また、歴史意匠委員会の伊藤委員長からの質問には、竹下支部長が回答する。
 - ・発表登録 HP のサーバーについて（木村学術幹事）
 - ・発表登録システム構築とアルバイト代について（木村学術幹事）
今年度の発表登録システムとサーバーは、昨年と同様に九州大学の石田先生にお願いしたこと、また、発表登録システムは順調に進んでいることが報告された。なお、アルバイト代は 10 万円を予定していることが報告され、了承された。
8. 2006 年度日本建築学会九州支部研究発表会の開催地等について（有馬総務幹事） 資料 23
 - ・資料 23 に基づいて報告があり、了承された。支部長から大分支所には既に連絡済みである。
 - 開催地：大分、開催月：2006 年 3 月、開催校：日本文理大学
9. 2006 年度支部共通事業設計競技について（太記学術幹事）
 - 1) 設計競技支部審査員の編成について 資料 24
 - 2) 設計競技全国審査部会の審査委員推薦について
 - 3) 設計競技の募集要項の検討依頼 回覧 13
 - ・資料 24 および回覧 13 に基づき報告があり、了承された。
10. 2006 年度支部文化事業企画について（有馬総務幹事） 資料 25
 - ・資料 25 に基づいて報告があり、文化事業企画委員会の委員について了承された。
 - ・担当支所：2006 年長崎：村田明久先生、2007 年沖縄

11. 2005 年度支部共通事業「鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・
施工指針」講習会について（木村学術幹事） 資料 26
・資料 26 に基づいて報告があり、支部役員開会挨拶と司会は木村学術幹事が担当すること、およびアルバイト（1 名）は伊地知さんと相談して決めることが了承された。
・日時：2006 年 2 月 28 日
12. 「合成構造の設計」講習会（有馬総務幹事） 資料 27
・資料 27 に基づいて講習会会場が決定したことが報告された。
・日時：2006 年 2 月 21 日，場所：九州大学箱崎地区 21 世紀交流プラザ
13. 次年度以降の支部研究補助費の取り扱いについて（有馬総務幹事） 資料 28・回覧 14
・資料 28 に基づいて、支部研究補助費の取り扱いに関するアンケートの報告があった。アンケートに回答したのは沖縄支所と環境委員会のみで、幹事会で審議した結果、「案 1：研究フォーラム・シンポジウムの公募」を採用することが報告され、常議員会でも「案 1」を採用することが承認された。また、公募の実施要項案が示され、審査委員会は常議員会とすることで了承された。
14. 大分支所長の交代について（有馬総務幹事） 資料 29
・資料 29 に基づいて報告があり、承認された。
大分大学教授 菊池健児 先生 同 教授 大鶴 徹 先生
15. 2006 年度支部作品選集委員の交代について（有馬総務幹事）
・下記の交代が報告され、承認された。
熊本大学工学部環境システム工学科 教授 伊藤重剛先生 同 助教授 植田 宏
16. 後援依頼について（3 件） 回覧 15
・回覧 15 に基づき、下記 1), 2) の後援依頼に承諾したことが報告された。ただし、3) については、依頼文に誤りがあったため、再考をお願いしている旨の報告があった。
1)九州大学 21 世紀 COE プログラム「循環型住空間システムの構築」国際ワークショップ
日時：2005 年 10 月 3・4 日、場所：アクロス福岡
2)JIA 建築展 - 第 7 回福岡光州交流建築展
日時：2005 年 10 月 12～16 日，場所：イムズ地下 2 階プラザ
3)NPO 法人南畑ダム貯水する会「雨水利用と建築」の勉強会
日時：2006 年 1 月 21 日，場所：未定
17. 支部設計競技および支部長賞の表彰状の改定について（志賀総務幹事） 資料 30・回覧 16
・資料 30 および回覧 16 に表彰状の改訂版が示され、了承された。
18. 福岡県ブロック塀安全対策推進協議会への協力体制について（木村学術幹事） 資料 31
・資料 31 に基づき報告があった。木村学術幹事の提案に対して構造委員会より連絡があり、協議会に参加していただく先生として菊池先生の推薦があったことが報告され、了承された。ただし、協議会へ参加する場合の旅費等を竹下支部長が確認した後に菊池先生へ連絡することとなった。
19. 2005 年度における叙勲・褒章者の確認依頼について（志賀総務幹事） 回覧 17
・回覧 17 に基づいて説明があり、該当者がいないことが報告され、了承された。
20. 未来都市コンテスト協力依頼について（有馬総務幹事） 資料 32・回覧 18
・資料 32 および回覧 18 に基づいて報告があり、有馬総務幹事が都市計画委員会の福岡在住の先生を協力者として選任することが了承された。
21. 支部事務局パソコンのバックアップについて（有馬総務幹事） 回覧 19
・回覧 19 に基づいて報告があり、了承された。

・報告懇談事項

1. 「福岡建築倶楽部」への学会参加の件について 回覧 20
 - ・回覧 20 に基づいて報告があり、来年の新年交流会への案内は福岡在住の元役員および現役員に参加を働きかけることとした。
2. 短期的課題について
 - 全国大会の準備状況について（太記学術幹事） 資料 33
 - ・資料 33 に基づいて説明があり、現在までの進捗状況と今後のスケジュール等の確認を行った。
 - 法人会員対策（尾崎会計幹事） 資料 34
 - ・資料 34 に基づいて法人会員のアンケートについて報告があった。法人会員 96 社のうち、3 社は既に退会の意向を示し、アンケートに答えた 27 社のうち 1 社も退会を考えている。今後、アンケート結果を集計し、支部のサービスのあり方を検討する。
3. 中長期的課題について
 - 支部賞（業績賞・支部長賞）のあり方（志賀総務幹事） 資料 35
 - ・資料 35 に基づいて、東北支部の活動（東北建築賞）が紹介された。今後、予算的裏付けなどを含めて他の支部の活動状況に関する資料を集め、九州支部における独自の支部賞を模索する。

次回会議日程

1. 12 月幹事会
 - 日時：2004 年 12 月 28 日（水）10 時～
 - 場所：九州支部事務局会議室
2. 1 月常議員会
 - 日時：2005 年 1 月 24 日（火）14 時～
 - 場所：九州支部事務局会議室
3. 文化事業委員会
 - 日時：2005 年 1 月 24 日（火）13 時～
 - 場所：九州支部事務局会議室